

2010年3月期 連結決算説明会

2010年5月18日
大陽日酸株式会社



2010年3月期 業績概要

単位：億円

	09年3月期 利益率	10年3月期 (公表値)	10年3月期 (実績)	前期比 増減率	公表値比 増減率
売上高	4,957	4,500	4,333	- 624 - 12.6%	- 167 - 3.7%
営業利益	291 5.9%	274 6.1%	275 6.4%	- 16 - 5.5%	1 + 0.6%
経常利益	279 5.6%	246 5.5%	270 6.2%	- 9 - 3.2%	24 + 10.0%
当期純利益	165 3.3%	133 3.0%	157 3.6%	- 8 - 4.7%	24 + 18.4%

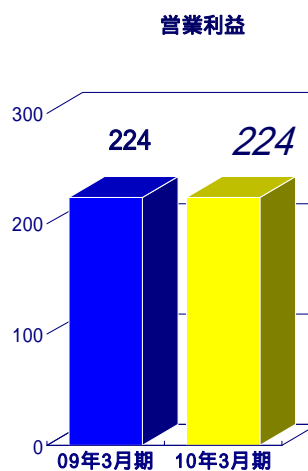
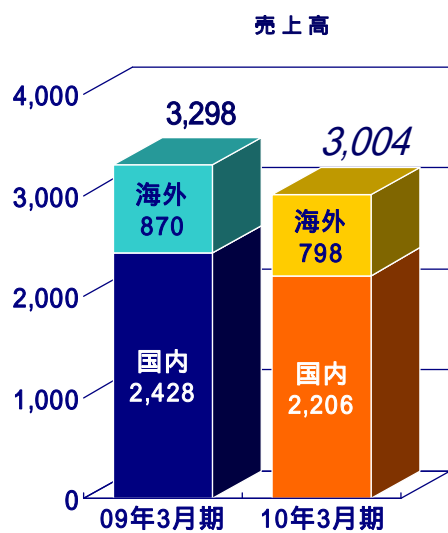


事業セグメント情報



2010年3月期 連結セグメント ガス事業

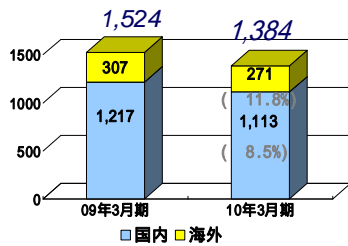
単位:億円



2010年3月期 ガス事業の主な売上推移

単位: 億円

酸素・窒素・アルゴン

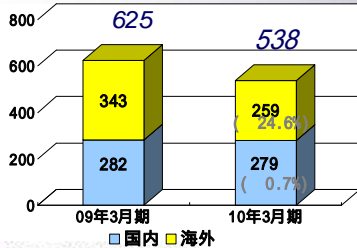


1,384億円(前年同期比 9.2%)

海外 ▶ 全般的に期央から回復傾向を辿ったものの北米需要の回復が緩やかなものにとどまった

国内 ▶ 鉄鋼、化学、エレクトロニクス向けパイピング需要が回復、バルクガス需要は小幅回復

電子材料ガス



538億円(前年同期比 13.8%)

海外 ▶ 北米、台湾を中心に需要は回復傾向にあったものの、期初の急激な需要減少が大きく影響

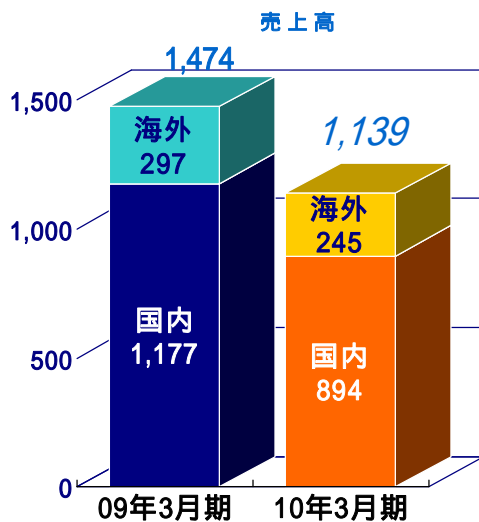
国内 ▶ 液晶、半導体向け需要が回復
大型液晶パネル工場向け供給開始



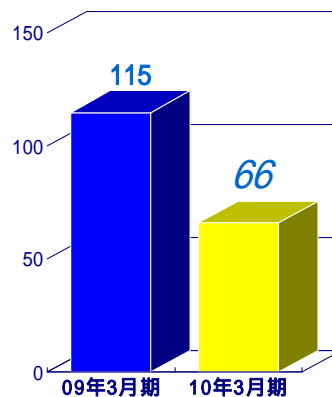
2010年3月期 連結セグメント

機器・装置事業

単位: 億円



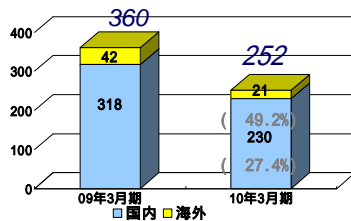
営業利益



2010年3月期 機器・装置事業の主な売上推移

単位: 億円

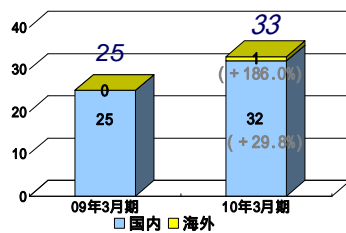
電子関連機器・工事



252億円(前年同期比 30.0%)

- 海外 ▶ 台湾での設備投資計画が延期又は見直された影響をうけた
- 国内 ▶ 大型プロジェクトが順調に進捗する一方、新規投資案件は減少

MOCVD装置



33億円(前年同期比 +32.0%)

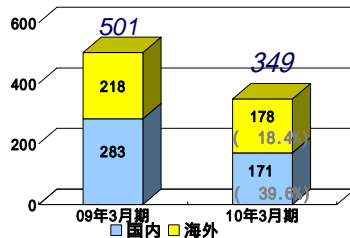
- 海外 ▶ 韓国や台湾など海外ユーザーからの引き合い活発化
- 国内 ▶ LED向け大型量産機の引き合い、受注は順調に進捗



2010年3月期 機器・装置事業の主な売上推移

単位: 億円

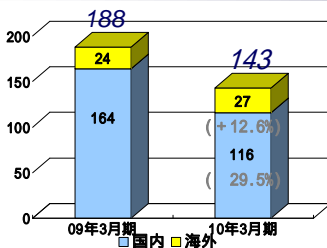
切断・溶接関連機器



349億円(前年同期比 30.4%)

- 海外 ▶ 北米の回復は緩やか
中国では競争が激化
- 国内 ▶ 公共投資、建設需要が低迷
ユーザーの設備投資が大幅に減少

機械装置



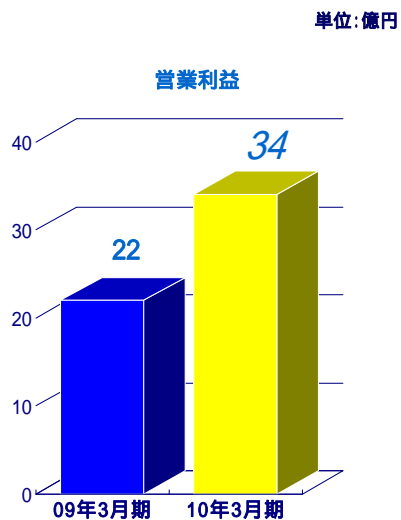
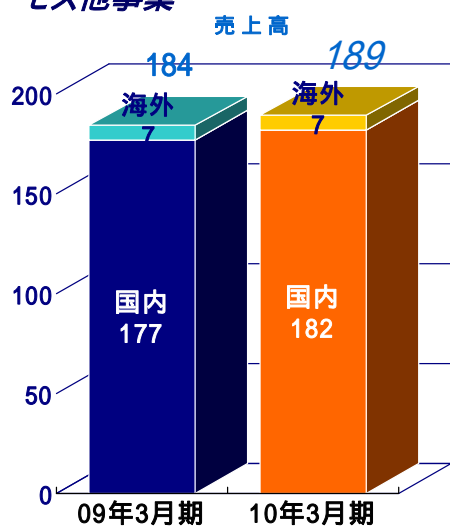
143億円(前年同期比 24.1%)

- 海外 ▶ 韓国向けに堅調に推移
- 国内 ▶ 新規の投資計画が低迷



2010年3月期 連結セグメント

サーモス他事業



当期ハイライト



当期ハイライト(海外)

- ➡ 米国独立系最大手の産業ガスディストリビューター (Valley National Gases) を買収
- ➡ 中国(上海)において、当社グループ初となる医療用酸素ガスビジネスを開始
- ➡ インド工業ガスディストリビューター (K-Air) を買収
- ➡ フィリピン、ベトナムにおいて積極投資、製造能力を大幅に増強する計画



当期ハイライト(国内)

- ➡ グリーンフロント堺向けガス供給開始
- ➡ EVONIK社とのモノシラン製造プロジェクト建設開始
- ➡ MOCVD装置の拡販計画推進中
- ➡ 高配向カーボンナノチューブ(CNT)分離膜並びに転写膜の開発に成功
- ➡ クライオライブラリーの引き合い活発化



EVONIK DEGUSSA社との共同製造プロジェクト



出所：SHARP グリーンフロント堺全景

クローズアップ



クローズアップ

MOCVD装置の拡販計画を積極推進

高まる国内外の需要ニーズに積極的に対応すべく、
大型量産機 (UR-25K) の実証機増設を完了

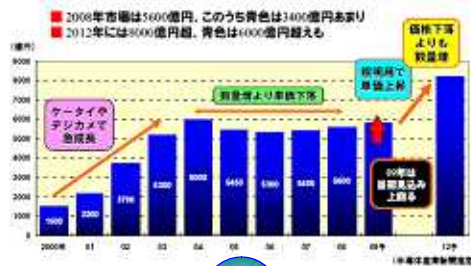
- > 当期中に新型量産タイプの実証機を設置
- > 国内、海外向けに拡販を推進



2012年度に
世界的なMOCVD装置メーカーを目指す
(海外比率40%、W/Wシェア20%)



LEDチップの世界市場規模 (青色以外も含む)



大陽日酸は、化合物半導体でトータルソリューション
をご提案します

クローズアップ

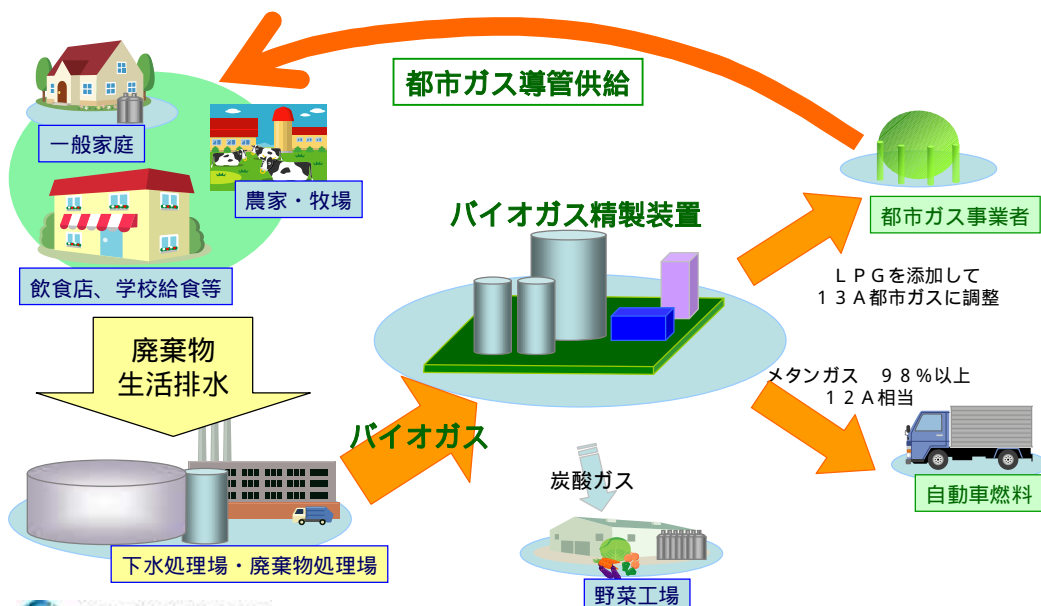
バイオガス精製装置

2009年4月より実施された「バイオガスの精製・輸送・貯蔵技術を用いた家庭向け精製メタンガス供給モデル事業」の実証試験向けにバイオガス精製装置を納入

➡ 一般家庭燃料向けバイオガス供給システムの実用化にむけて国内で初めて成果を確認



循環型バイオガス利用システムの将来構想

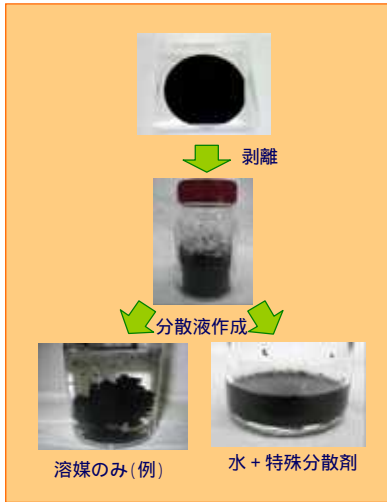


クローズアップ



高配向CNT分散液並びに転写膜の開発に成功

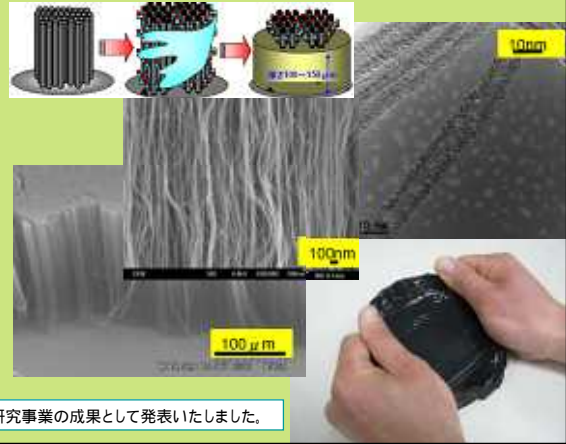
高配向CNT分散液



高配向CNT転写膜

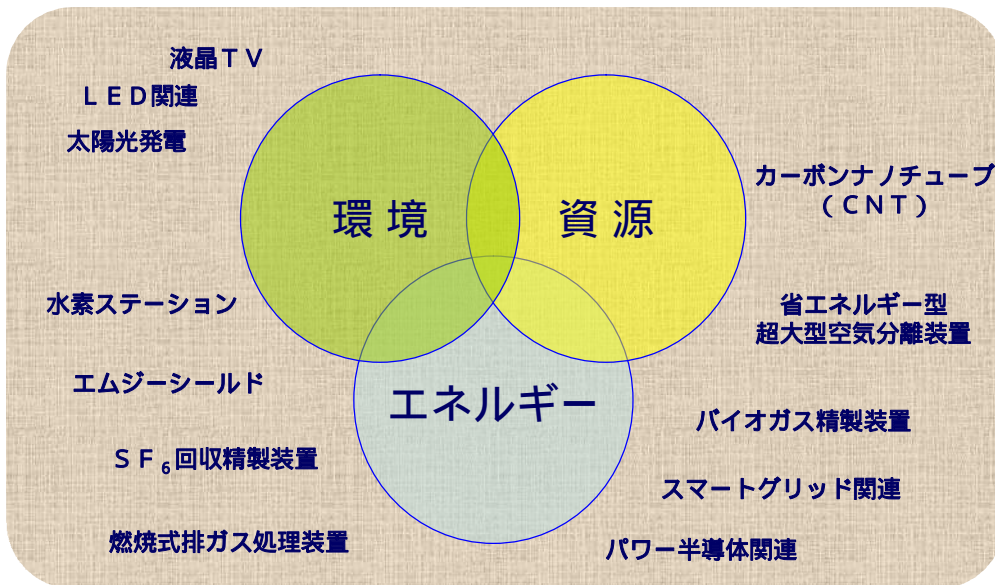
太陽電池、燃料電池、リチウムイオン電池などの電極材料
ディスプレイ用として電子放出基材などへの応用が期待される

> 3年以内の実用化を目指す



当事業は大阪府の地域結集型共同研究事業の成果として発表いたしました。

環境、資源、エネルギーへの取組み



トピックス



Topics

北米最大の独立系アセチレン製造・卸売会社である Western International Gas & Cylinders Inc.を買収

商号: Western International Gas & Cylinders Inc.
(ウエスタン・インターナショナル・ガス・アンド・シリンダース)

代表者: Dan Hord, III (CEO)

所在地: テキサス州ベルヴィル

設立年: 1985年

事業内容: アセチレンの仕入・製造・販売

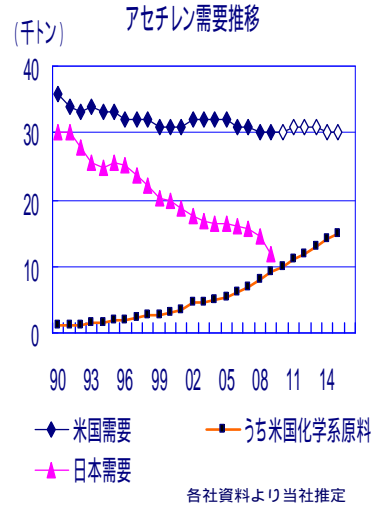
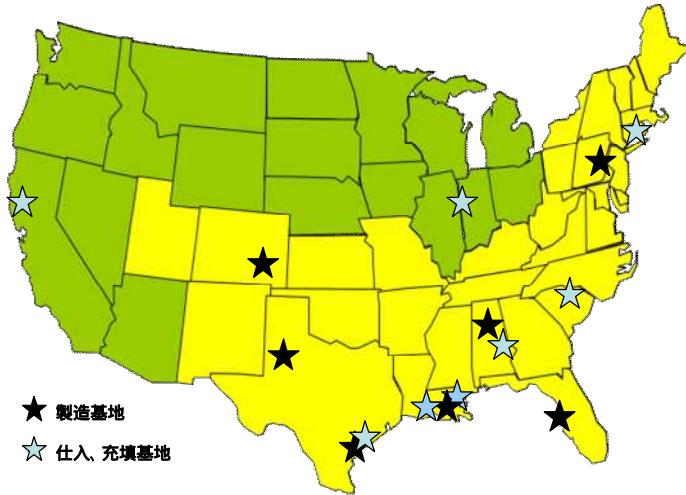
決算期: 12月

従業員数: 約290名

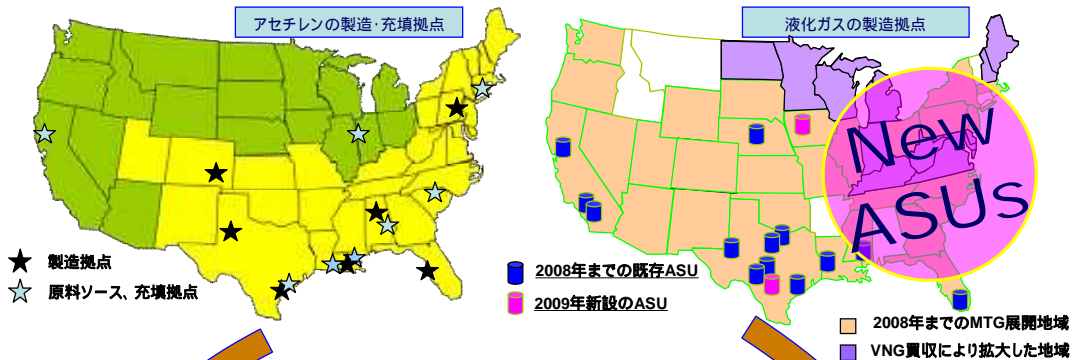
営業拠点: 10州15か所



Western International Gas & Cylinders Inc.の製造、充填拠点



拡大、成長を続ける米国事業



1. コスト競争力の強化
2. 新たな需要創出

米国における
更なるプレゼンスの向上



2011年3月期 連結業績(通期予想)



2011年3月期 連結業績(通期予想)

単位: 億円

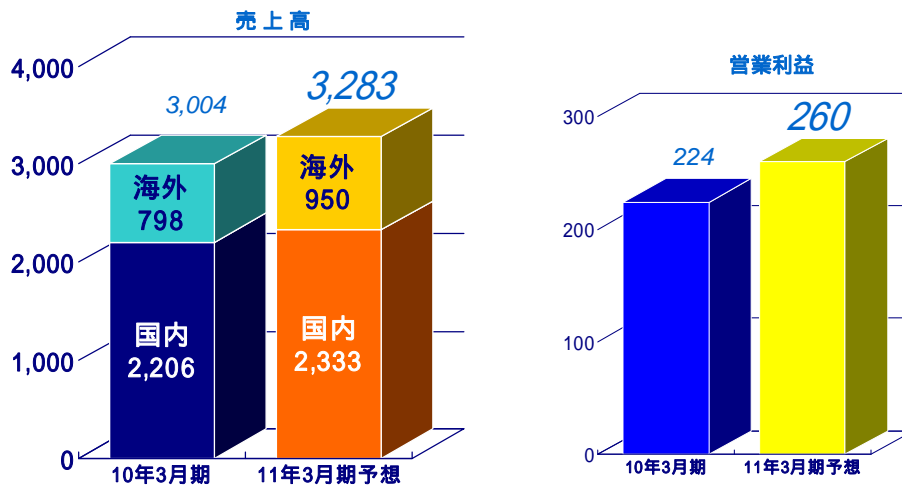
	10年3月期 (実績)	11年3月期 (予想)	増減	増減率
売上高	4,333	4,800	466	+10.8%
営業利益	275 6.4%	325 6.8%	50	+17.9%
経常利益	270 6.2%	305 6.4%	35	+12.7%
当期純利益	157 3.6%	170 3.5%	13	+7.9%



2011年3月期 連結セグメント（通期予想）

ガス事業

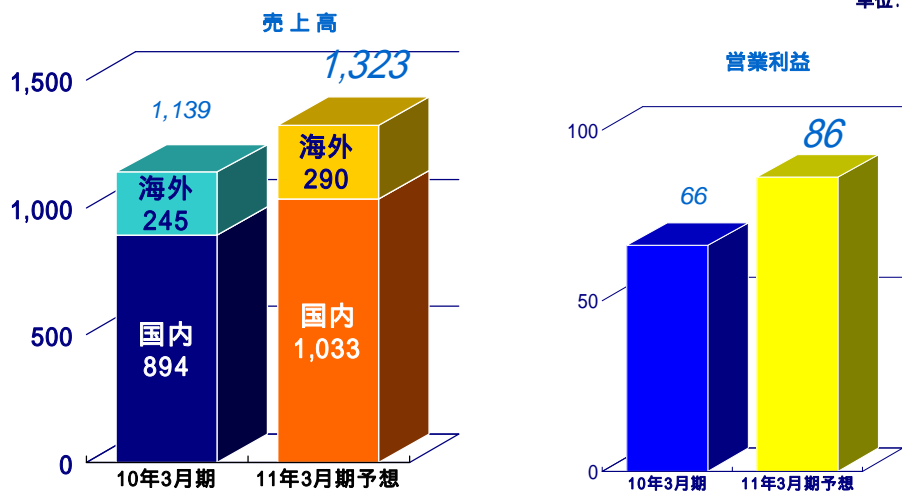
単位：億円



2011年3月期 連結セグメント（通期予想）

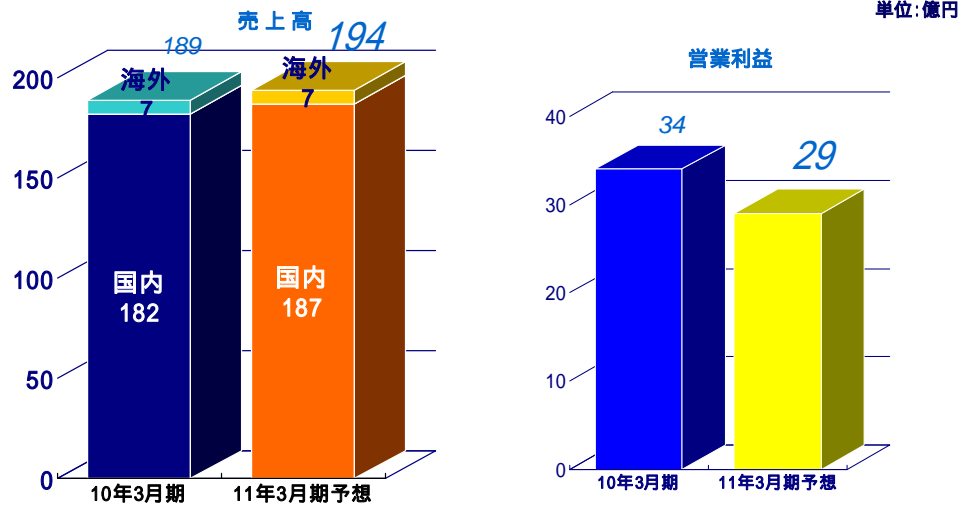
機器・装置事業

単位：億円



2011年3月期 連結セグメント（通期予想）

サーモス他事業



注意事項

本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限りません。）を含んでおります。

このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控え下さいますようお願い致します。

